

# ミドリグリーン Advance

Cat.No. NE-MG03, NE-MG04

取扱説明書 Ver.202412

Cat.No.	製品名	包装単位
NE-MG03	Midori Green "Advance" DNA Stain 【トライアルキット】	50 $\mu$ L
NE-MG04	Midori Green "Advance" DNA Stain	1 mL

ミドリグリーンAdvanceは、エチジウムブロマイド (EtBr) に替わる安全なDNA 蛍光染色試薬です。

## 【特長】

- EtBrに比較してより安全なアガロース電気泳動用核酸染色用試薬です。
- DNA やRNA と結合し、緑色の蛍光を発します。
- 励起波長：490 nm 付近に強い1次ピーク、 $\sim$ 270 nm と $\sim$ 290 nm に2次ピークがあります。
- 蛍光波長： $\sim$ 530 nm です。
- 先染め、後染めどちらも可能です。

## 【保存条件】

室温または4 $^{\circ}$ C (必ず遮光保存してください)

## 【使用期限】

製品ラベルに記載の期限まで

## 【安全性】

ミドリグリーンAdvanceは、非発癌性です。エームス試験の結果、EtBrよりも圧倒的に低い変異原性を示しました。

## 【使用方法】

### ● 先染めの場合

- ① アガロースゲル溶液を任意の方法で作製してください。(オートクレーブ、電子レンジ等を使用)
- ② ゲルの温度が50 $\sim$ 60 $^{\circ}$ Cに冷めたら、アガロースゲル 100 mL に対してミドリグリーンAdvance 4-6  $\mu$ L を添加し、混合してください。
- ③ ゲルをゲル作製用トレーに流し込んでください。(ゲル厚を0.5 cm 以下にすることが染色の成功につながります)
- ④ ゲルが十分に固まったことを確認してから電気泳動してください。
- ⑤ 泳動結果は、UV またはLED イルミネータで検出してください。

### ● 後染めの場合

- ① 電気泳動用バッファー100 mL に対してミドリグリーンAdvance 10-25  $\mu$ L を添加、混合し染色用溶液を作製してください。(作製した溶液は2 $\sim$ 3回使用可能です。)
- ② 電気泳動後のゲルを①で作製した溶液に浸し、5 $\sim$ 60分間ゆっくり振盪してください。
- ③ バックグラウンドが高い場合は、染色後に蒸留水または泳動バッファーで5-45分間振盪洗浄して脱色ください。
- ④ 泳動結果は、UV またはLED イルミネータで検出してください。

## 【注意】

- 作製するゲル厚は、0.5 cm 以下にすることが染色の成功につながります。
- 一般的な試薬の取扱いと同様に、取扱いは十分ご注意ください。操作時には、グローブをご着用ください。使用後は、各施設の基準に従って廃棄してください。
- SDS を含むLoading バッファーを使用した場合、ミドリグリーンAdvance で陰イオン物質が染色され検出される場合があります。
- ミドリグリーンAdvance は、電気泳動でのDNAバンドの確認を目的として開発されましたため、DNA を定量する目的に関しましては、検証されておりません。



日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル18階  
https://n-genetics.com ☎ info@genetics-n.co.jp ☎ 03 (3813) 0961 ☎ 03 (3813) 0962